

地域に “お返し”がしたい

岸田 佳子さん（湖北町山本）
赤谷の里 代表

ときめ輝びと



撮影場所：農村婦人の家・赤谷荘（小谷町野町）

国道365号の丁野交差点を東に入った小谷山西麓に、「農村婦人の家 赤谷荘」があります。ここを拠点に湖北地域の女性たちが地域に残る伝統料理などの情報を発信しようと、仲間15人ほどでたちあげたのが「赤谷の里」。その代表を務めるのが岸田さんです。

赤谷荘は昭和55年に当時の湖北町が開設しましたが、設備の老朽化や産業構造の変化などで利用が減少。岸田さんは、「地域の人のために建ててもらった施設だから、しっかり活用したい」と立ち上がりました。

岸田さんは、結婚後しばらくは夫の仕事の関係で地元を離れたましたが、昭和56年に長浜へ戻り、子どもが知らない土地でも地域に溶け込めるよ

うと、「まずは自分が地域のことを知ろう。地域を好きになろう」と考えました。当時の町等が主催する料理講習等の催しには積極的に参加。「この地で一生過ごすことになるから、友達をたくさんつくりたい」と、女性会での活動にも参加し、PTA役員を引き受けるなど、徐々に活躍の場を広げていきました。環境分野にも熱心で、石けん運動や家庭用廃食油の回収などの取組みを今なお続けています。昨年退任しましたが、NPO法人碧いびわこ（前身：滋賀県環境生活協同組合）の理事を務めるほど。また、赤十字奉仕団や観光ボランティアガイドも長年続けるなど、いつも前向きな気持ちで取り組み、研さんを積みました。

真心に満ち溢れた岸田さんは自身の活動を振

り返り、「自分や子どもをここまで育ててくれた地域に、何か恩返しをしたい」と感謝の気持ちでいっぱいです。

赤谷の里では、地域の食材を活かし、調味料にもこだわった弁当の提供や地域の人たちが気軽に集える食堂（予約制）なども運営しています。また、長年続けている味噌加工の他、糍（こうじ）を活用した発酵食品の開発・販売、毎月2回程度、地域の伝統食などの料理講習会も開催。

「まだ運営を始めたばかりで軌道に乗せるまでは大変ですが、地域の人たちに気軽にしてくれる伝統食を伝えていき、この場所を若い女性が地域のために働ける場にしていきたい」と、笑顔で夢を語りました。

Smile Smile

※このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。
笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。
掲載を希望する人は市民広報室（☎65-6504）まで申込みください。

1歳お誕生日おめでとう。ケンカもたくさんするけど、元気いっぱい仲良しの兄弟でいてね。



片桐

悠人ちゃん（平成24年10月生まれ）右
巧人ちゃん（平成22年1月生まれ）左
（高月町馬上）

吉武

杏ちゃん（平成24年8月生まれ）
（桜町）



ももちゃん♡♡♡
パパとママのところに生まれてきてくれて
ありがとう♡♡♡

まちの人口	平成25年9月1日現在	人口 123,094人	男 60,236人	女 62,858人	世帯数 44,393世帯
	平成25年8月中の異動	転入 213人	転出 233人	出生 107人	死亡 77人 婚姻 60件



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキと環境に配慮した再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも置いています。市のホームページでもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の人は市民広報室まで。